

寺社等の個別ヒアリング調査企画（案）

1. ヒアリング概要等

▽寺社等の個別ヒアリング実施の目的・概要

- * 近年、寺社そのものの喪失、境内地内の事業活用等による建築物の建造や、景観上重要な樹木が喪失される事例等があり、これらは歴史的景観に影響を与えかねない。
- * 寺社等への個別ヒアリングを行い、寺社等が抱える課題・認識を把握することにより、地域との協働や専門家への相談、届出制度等、具体的施策（素案）の具体化に向けた基礎情報を得る。

2. 個別ヒアリングを行う対象についての考え方

- ① 過年度 61 エリアの中から（特にモデル地区 6 地区）
 - 現地調査等を行った成果により、周辺の町並みの成り立ちを含めて検討が可能
- ② 成功事例のあるエリアや寺社など
 - 課題の改善・成功要因等のヒントを得る
- ③ 観光客等の来訪が多い寺社など
 - 経営的な課題以外の課題把握（景観的に調和した大規模駐車場等）
- ④ 各宗派等のトップの方
 - 全体的な経営の実情等の把握（※寺社への直接ヒアリングでは本音を聞き出すことは困難な可能性があるため）
- ⑤ 檀家総代、氏子総代等の全体状況を把握している方
 - 寺社経営を支える立場からの御意見

3. 個別ヒアリング内容

- ① 現在のお困りごとについて
 - * 現状の課題（建物の維持、管理や樹木の管理、周辺の景観、地域との関係等）
 - * 現時点での課題への対応方法（相談・協力・支援要請の相手先等）
 - * 檀家氏子制度の状況、今後の見通し / 等
- ② 必要な協力・連携・支援策のあり方
 - * 支援策への意見、改善案、利用意向等
 - * 協力・連携を行う主体のイメージ：檀家・氏子衆、近隣住民、行政、専門家等
- ③ 既存の各種補助制度の活用経験、改善の要望
- ④ 事前届出制（柱 3：解体・売却等の情報の事前報告）に対する評価、ご要望
- ⑤ 寺社の地域コミュニティとの関係（地域との距離感、祭礼行事、檀家氏子との関係、地域景観づくり協議会への参画の可能性等）